A close-up photograph of a person's mouth, showing their teeth with metal orthodontic braces. The person's nose is visible at the top of the frame. The background is a soft, out-of-focus light color.

九州歯科大学附属病院

歯科医師臨床研修プログラム

矯正歯科 選択研修（1ヶ月コース）

Contents

1. 医局概要
2. プログラム内容
3. キャリアパス

1. 医局概要

医局員構成

指導医 教授 川元龍夫
他教員 5名

日本矯正歯科学会 認定医 6名
日本歯科専門医機構 矯正歯科専門医 4名

医員 数名

大学院 約15名



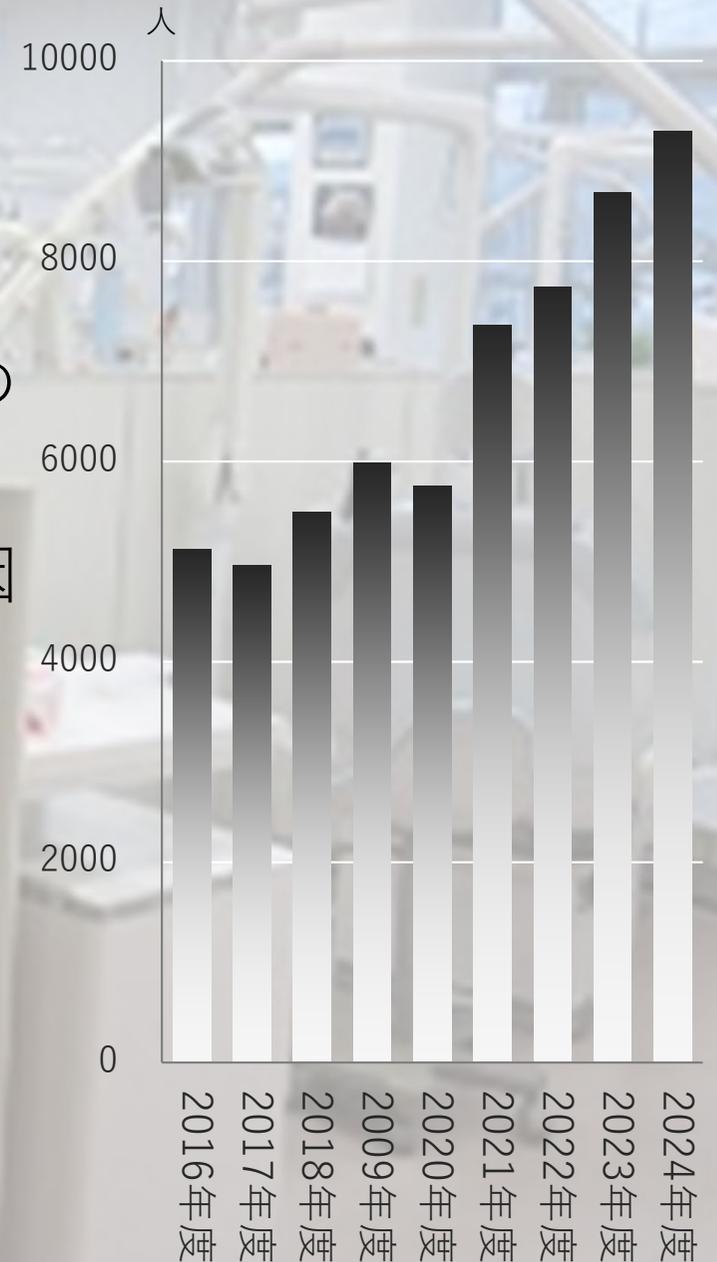
1. 医局概要

矯正歯科

対象疾患：

- 叢生、上顎前突、反対咬合、開咬 などの不正咬合（乳歯列期から永久歯列期まで）
- 顎変形症、唇顎口蓋裂、先天性疾患に起因した不正咬合など

診療実績：2023年2月末まで
患者数 のべ7,806名
(1日平均 35.0名)



2. プログラム内容

矯正歯科は選択研修（1ヶ月コース）のみ

一般目標：

歯や口腔機能を回復する役割を担う歯科の中における、矯正歯科の役割を理解するために、**診察・検査・診断、治療計画立案、矯正装置の使用**に関する基本的な知識・技能・態度を身につける。

研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医とともに指導の下で検査、診断、治療を行う。

経験または見学した症例を各1症例として数える。

2. プログラム内容

矯正歯科は選択研修（1ヶ月コース）のみ

行動目標

| | 必要 症例数 | 修了判定の 評価基準 |
|--|-----------|--|
| ① 初診医療面接 （歯式記録、全身的病歴、既往歴、家族歴の聴取）を診療補助、 見学 する。 | 1 症例 | 3 症例 |
| ② 矯正歯科治療の概略 （治療方法、ベネフィット、リスク、治療期間）の説明を 見学 する。 | | |
| ③ 不正咬合に関係する口腔内・外診察を行うため、症例に応じた 矯正診断に必要な検査 （印象・咬合採得、顎態模型の製作、顔面規格写真・口腔内写真撮影、頭部X線規格写真の撮影依頼）の 実施、見学 を行う。 | 1 症例 | 1 症例以上 |
| ④ 顔面・口腔内写真、X線写真の評価や、顎態模型、頭部X線規格写真の分析を行い、 治療方針、治療計画を立案 する。 | 1 症例 | 検査結果の評価、診断、治療方針・治療計画立案について1症例以上 レポート にまとめる。 |
| ⑤ 各種矯正装置の構造、機能、使用方法を理解するために、 矯正装置の説明を見学、診療補助 を行う。 | 10 症例 | 10 症例以上見学 |
| ⑥ 矯正装置の調整を見学、診療補助 を行う。 | | |
| ⑦ 症例に関する カンファレンス や 学会 等に参加する。 | | カンファレンスにて 発表 することが望ましい。 |

2. プログラム内容

カンファレンス

毎週木曜日

矯正歯科カンファレンス

第1月曜日

唇顎口蓋裂カンファレンス

- ・ 症例検討
- ・ 連携体制の調整

成長発育系カンファレンス

- ・ 症例検討
- ・ 講演
- ・ 情報交換

第1木曜日

顎変形症カンファレンス

- ・ 初診カンファレンス
- ・ 術前カンファレンス

(現在は下記2つのカンファはオンラインで実施)



3. キャリアパス 臨床研修修了後の進路

- 顎口腔機能矯正学分野 **大学院進学、博士号**取得
- **日本矯正歯科学会 認定医**
 - ・ 学会指定研修機関における矯正歯科基本＋臨床研修5年以上
※歯科医師卒後臨床研修の1年間を含まない。
 - ・ 矯正歯科臨床に関連する論文発表
- **日本顎変形症学会 認定医** 2023年度より開始
 - ・ 通算5年以上、顎変形症に関する診療に従事
 - ・ 別に定める研修実績および診療実績
- **日本歯科専門医機構 矯正歯科専門医**

短期間で一朝一夕に治療を理解し、テクニックを習得するのは困難
矯正歯科に触れたい、分野の雰囲気を知りたい先生に選択していただきたいです

不明な点は郡司掛 (k-kaori@kyu-dent.ac.jp) まで